

# デーリー東北

2018年(平成30年)9月16日(日曜日)(18)

## 野辺地

### 人力発電機使い 電球点灯に挑戦

小5児童対象  
エネルギー教室

野辺地町は11日、町内3小学校の5年生を対象とする「エネルギー・環境教室」を各校で開催し、子どもたちがエネルギーの重要性や最新の省エネ技術について理解を深めた。次世代を担う子どもにエネルギーと環境の問題を知ってもらおう

と毎年実施。講師は八戸工業大工学部電気電子工学科の佐々木崇徳准教授と学生らが務め、人力発電や超電導など四つのテーマに別れて講義を行った。

町立野辺地小では5年生50人が参加。人力発電のコーナーでは、自転車型の発電機を利用した電球点灯などに挑戦し、エネルギーを生み出す大変さを学習した。また、風力発電や原子力産業についても学んでいた。

若泉愛理さん(11)は



自転車型の発電機で電球を点灯させる児童

「自転車をこいでテレビをつけようとしたけど大変で、電気を作るのが難しいが分かった。これからは家の電気を小まめに消して省エネを頑張りたい」と話していた。(藤村大地)